



2月になりましたがまだまだ寒い日が続きますね。でも2月は節分・バレンタインなど行事がいっぱいです。2月22日はごろあわせで「ねこの日」というのもあります。外が寒い日は、家の中で家族

いっしょに、行事に関する鬼の本や、ねこがいっぱい出てくるお話など読んでみてはいかがでしょうか？図書館にはそういった本もたくさんありますので、ぜひ借りに来てくださいね。

2がつのとしょかんカレンダー

にち	げつ	か	すい	もく	きん	ど
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

■おやすみ ○イベントのある日

イベントのお知らせ

2/27 おはなし
【土】 らんど

じかん：10:30~11:00

ばしょ：図書館

えほんの会「ゆめ」のみなさんのたのしいおはなし会です。

2がつのまめちしき

べつこのよび方：如月(きさらぎ)

たんじょう石：アメジスト

2月の花：マーガレット

英語の2月：February(フィブラリ)

「2月のこども図鑑」より



ねこの本

2月22日はねこの日。「2」を「にゃん」と読ませる語呂合わせからきているそうです。そんなねこをモチーフとした絵本や児童書を集めてみました。

「ねこの駅長たま」91コ

小島 光信 / 作

「わたし、駅で生まれたねこ、たま」だいすきな電車をまもるために、駅長になったねこの、本当にあった物語。

「ルドルフとイッパイアッテナ」

91サ 斉藤 洋 / 作

ルドルフと、兄貴分、イッパイアッテナのとびきりゆかいな、のらねこ生活。知恵と勇気と友情の物語。

みけねこ
がらだぜ!

「ほんやのねこ」91ヒ

ヒグチユウコ / 絵と文

「このおはなしはある小さなほんやのなぞめいた女主人についてです」おかしな世界のおかしな主人の物語。

「なまえのないねこ」Eナ

竹下 文子 / 文

「ぼくはねこ。なまえのないねこ。」名前のない猫が見つけた「ほんとうに欲しかったもの」とは？

おに

ほん

鬼の友

さいきん何かと話題の鬼。いい鬼や悪い鬼、いろいろな鬼がいます。そもそも鬼とはどのような存在なのでしょう？ 鬼がでてくるお話や、鬼について書かれたいろいろな本を集めました。



えほん

絵本

人間と友だちになりたい心やさしい鬼や、人間とユーモラスなやりとりをする頭のいい鬼など、いろいろな鬼が出てくるおなじみの絵本です。

「島ひきおに」 Eシ 山下 明夫／文 梶山 俊夫／絵

「だいくとおにろく」 Eタ 松居 直／再話 赤羽 栄吉／絵

「泣いた赤おに」 Eナ 浜田 廣介／作 梶山 俊夫／絵

よもの

読み物

みんなが知っている鬼が出てくる昔話や、鬼や人間とのかかわりを書いたお話など、鬼の話を集めた読み物の本です。

「おにのはなし」 91テ 寺村 輝夫／文 ヒサ クニヒコ／絵

「ようかいむかし話 おに」 91フ 藤田 晋一／文 大井 知美／絵

「鬼の話」 91ハ はま みつお／作 石倉 欣二／絵



おいらはとらからだ!

鬼について書かれた本



いろいろな人が鬼について調べたことや、伝えられていることなどが書かれた本です。今まで知らなかった鬼のことがわかるかも？

「桃太郎は盗人なのか？」 38ク 倉持 よつば／著

「オニの生活図鑑」 38ヒ ヒサ クニヒコ／文・絵

「鬼が出た」 38オ 大西 廣／文 梶山 俊夫ほか／絵

「鬼学」 38マ 松岡 義和／著

紹介した本は図書館の読むんじゃ〜コーナーに置いてあります。ブックルでも予約ができますよ★

こんげつごうのキャラクター

ないたあかおに



とある山の中に、ひとりのあかおにが住んでいました。ずっと人間となかよくなりたと思っていたあかおには、「心のやさしい鬼のうちです。どなたでもおいでください」という立てふだを家の前に立てましたが…。 つづきは読んでのおたのしみ♪